



ミズクラゲ

ミズクラゲはときに大発生し漁師さんに嫌われる。網にかかって重く

若狭湾水中散歩

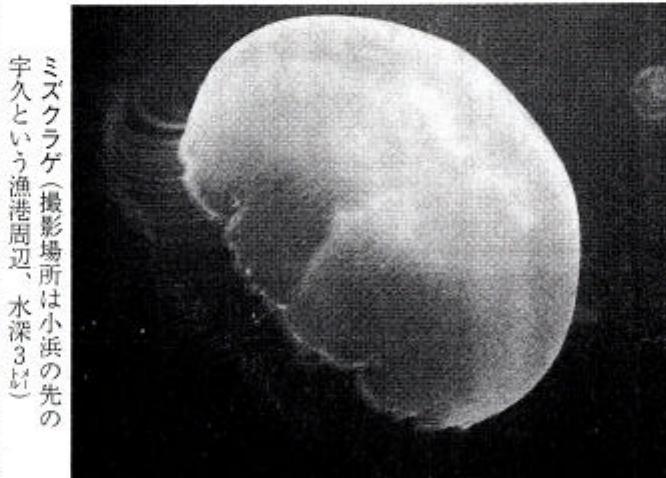
京大水産実験所 益田 玲爾

5

ミズクラゲは人間が刺されても痛いような毒はない。がしかし、ミズクラゲをそのまま食べると持つてない。小型のミズクラゲをそのまま食べるとのは、小浜名物くずまん 大変なことになるらしい。

て揚げられなくなるからだ。しかし、海のしぐみを全体として理解する上では、嫌われ者の生き物

についても研究しておかなければならない。プランクトンが増えれば、それを餌にするクラゲが増えるとか。さらに因については諸説ある。クラゲの幼生には、ボリュームといつて壁にへばりつ等々。いずれにせよ、人間の営みがまわりまわつて人間に返ってくるわけ



ミズクラゲ(撮影場所は小浜の先の宇久という漁港周辺、水深3m)

ミズクラゲは人間が刺されても痛いような毒はない。がしかし、ミズクラゲをそのまま食べると持つてない。小型のミズクラゲをそのまま食べるとのは、小浜名物くずまん 大変なことになるらしい。

ミズクラゲを寒天だと思つて食べると、喉のあたりに強烈なかゆみを感じ、嘔吐が止まらなくなるのだそうだ。

役に立たないミズクラゲでも、日々観察しているとなんとなく愛着も湧いてくる。潜水中に、ミズクラゲに捕まつて食べられている光景に遭遇すると、ついミズクラゲを救出してみたくなる。そんな日の晩はミズクラゲが美しい女性に姿を変え、恩返しに来たり、なんことは、決してないんだなあ、これが。